

教育に関する事務の管理及び 執行状況の点検・評価報告

【対象年度：令和6年度】

令和7年8月

美里町教育委員会

目 次

はじめに	1
1 教育委員会の概要等	
(1) 教育委員会の職務	2
(2) 教育委員会の事務	3
(3) 教育委員会組織	4
(4) 教育委員会関連経費	5
(5) 教育委員会の会議運営状況	6
2 点検・評価の対象と方法	7
3 点検・評価	9
4 点検・評価に対する教育委員会評価委員会からの意見	21
おわりに	23

はじめに

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第26条の規定に基づき、教育委員会が毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないことになっています。

教育委員会の自己点検・自己評価の目的は、合議体の教育委員会が自らの活動のほか、教育長及び教育委員会事務局が執行している教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行うことで、町民への説明責任を果たすことにあります。

また、自己点検・自己評価を行い、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行についての課題を捉え、解決につなげるよう努めることにより、公正かつ適正な教育行政の一層の推進を図るものであります。

1 教育委員会の概要等

(1) 教育委員会の職務

教育委員会の職務は、地方自治法第180条の8の規定により、学校その他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱及び教育職員の身分取扱に関する事務を行い、並びに社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を管理し及びこれを執行することです。教育委員会の職務権限の行使は、地教行法第14条の規定により、合議体である教育委員会の会議の決定により行われます。

教育委員会は、教育長及び4人の委員をもって組織します。教育長は、任期が3年で町長が町長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもののうちから議会の同意を得て任命します。

委員は、定数が4人で、任期は4年です。町長が町長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから議会の同意を得て任命します。町長が委員を任命するに当たっては、①委員定数に1を加えた数の2分の1以上の者が同一の政党に所属することになってはならないこと、②委員の年齢、性別、職業等に著しい偏りが生じないように配慮すること、③委員のうちに保護者である者が含まれるようにしなければならないことが規定されています。

教育長の職務を規定する「教育委員会の会務を総理」とするとは、「教育委員会の会議を主宰」すること、「教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどる」こと、及び「事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督する」ことを意味しています。教育長は、執行機関である教育委員会の補助機関ではなく、教育委員会の構成員であり、代表者であることから、教育委員会による教育長への指揮監督権は法律上規定されておりませんが、教育委員会は引き続き合議体の執行機関であるため、教育長は教育委員会の意思決定に基づき事務をつかさどる立場にあることに変わりはなく、教育委員会の意思決定に反する事務執行を行うことはできないものとされています。

美里町教育委員会教育長・委員名簿（令和7年8月1日時点）

職	氏名	任期	備考
教育長	伊藤 克宏	令和7年8月1日～令和9年2月19日	1期
委員 (職務代理者)	留守 広行	令和5年2月20日～令和9年2月19日	3期
委員	岡 文	令和7年2月20日～令和11年2月19日	1期
委員	大森 真智子	令和6年2月20日～令和10年2月19日	2期
委員	佐々木 忠夫	令和4年4月1日～令和8年3月31日	1期

(2) 教育委員会の事務

教育委員会は、地教行法第21条に基づき、教育に関する事務を管理執行しており、その職務権限は、同条に規定されています。その内容は、学校教育、社会教育、スポーツ、文化、文化財の保護等多岐にわたる事務を行うものであり、その対象は子供から大人までと幅広いものです。本町においては、スポーツに関すること（学校における体育に関することを除く。）及び文化に関すること（文化財の保護に関することを除く。）を地教行法第23条の規定に基づき、町長が管理・執行しています。

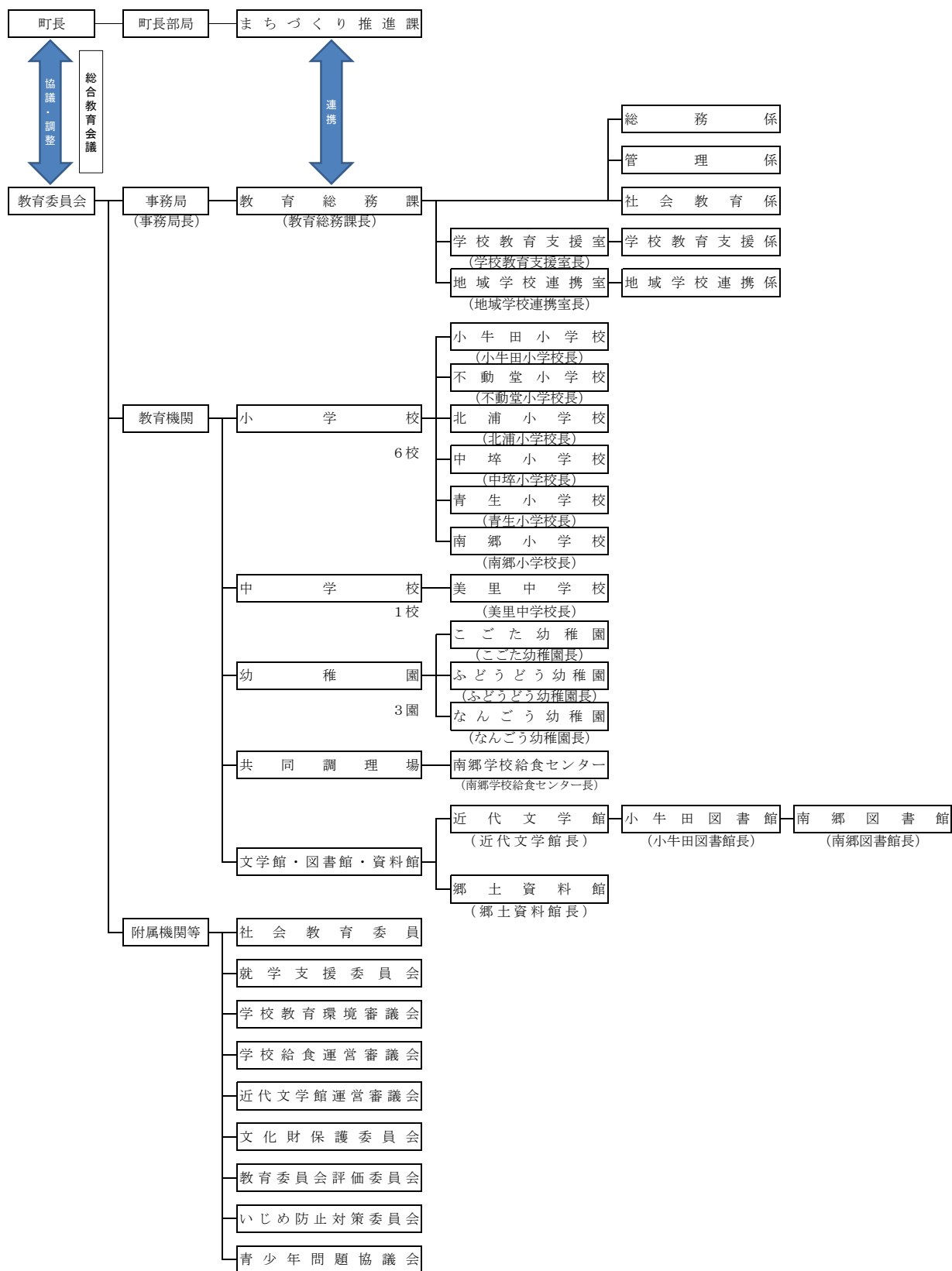
また、美里町長の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則第2条の規定に基づき、町長の権限に属する事務のうち次に掲げる5つの事務が教育委員会に委任されています。

- ・ 美里町立幼稚園預かり保育料等徴収条例の規定による預かり保育料等の減免に関すること。
- ・ 美里町学校給食費に関する条例の規定による給食費の額の決定及び減額に関すること。
- ・ 教育財産の使用料の減免に関すること。
- ・ 美里町奨学資金貸付条例で定める事項に関すること。
- ・ 美里町環境教育基金条例で定める事項に関すること。

地教行法第25条第1項の規定に基づき、教育委員会はその権限に属する事務の一部を教育長に委任しており、又は臨時に執行する必要がある場合は教育長をして臨時に代理しています。

(3) 教育委員会組織

令和7年4月1日現在



(4) 教育委員会関連経費

令和6年度 一般会計決算 (歳出10款教育費)

(10款 教育費については、5項4目の文化会館費、6項1目の保健体育総務費の一部、6項2目の体育施設費を町長部局で執行していることから、記載から除いています。)

単位：円

款 項 目	令和6年度 決算額 A	令和5年度 決算額 B	前年度対比 A-B
10 教育費	5,829,427,529	1,546,928,840	4,282,498,689
1 教育総務費	253,087,152	230,760,726	22,326,426
1 教育委員会費	2,149,100	2,523,600	▲ 374,500
2 事務局費	250,938,052	228,237,126	22,700,926
2 小学校費	201,308,125	204,492,620	▲ 3,184,495
1 学校管理費	109,623,292	131,992,649	▲ 22,369,357
2 教育振興費	91,684,833	72,133,455	19,551,378
3 新型コロナウイルス感染症対策費	0	366,516	▲ 366,516
3 中学校費	4,391,242,768	262,138,756	4,129,104,012
1 学校管理費	62,196,544	68,248,633	▲ 6,052,089
2 教育振興費	54,065,863	30,691,750	23,374,113
3 学校建設費	4,274,980,361	163,022,885	4,111,957,476
4 新型コロナウイルス感染症対策費	0	175,488	▲ 175,488
4 幼稚園費	319,185,070	327,312,209	▲ 8,127,139
1 幼稚園費	319,185,070	325,836,262	▲ 6,651,192
2 新型コロナウイルス感染症対策費	0	1,475,947	▲ 1,475,947
5 社会教育費	126,000,550	119,761,326	6,239,224
1 社会教育総務費	10,349,879	10,118,196	231,683
2 文化財保護費	13,859,722	14,542,065	▲ 682,343
3 図書館費	69,389,002	62,615,072	6,773,930
6 保健体育費	538,603,864	402,463,203	136,140,661
1 保健体育総務費	487,589	408,119	79,470
3 学校給食費	282,230,626	277,119,619	5,111,007

(5) 教育委員会の会議運営状況

No.	開催月日	区分	出席 委員	報告	審議	協議	その他	傍聴者	備考
1	4月15日	臨時	5		3				
2	4月25日	定例	5	7	6	2	2	1	
3	5月30日	定例	5	9		3	2	1	
4	6月27日	定例	5	6		3	2	1	
5	7月8日	臨時	5			2			
6	7月24日	定例	5	6	1		2		
7	8月22日	定例	4	6		2	2		
8	9月26日	定例	4	6		1	2		
9	10月31日	定例	5	8		1	2	1	
10	11月28日	定例	4	6		2	3		
11	12月26日	定例	5	6		1	2		
12	1月30日	定例	5	7		5	2		
13	2月10日	臨時	5	1		3			
14	2月27日	定例	5	7		6	2		
15	3月27日	定例	4	7	9	2		1	
合計			71	82	19	33	23	5	

2 点検・評価の対象と手法

(1) 点検・評価の対象

点検・評価に関して文部科学省から通知された内容を踏まえ、美里町教育振興基本計画（美里町教育大綱）（以下「基本計画」という。）、美里町総合計画・美里町総合戦略に（以下「総合計画」という。）に基づき、「美里町総合計画 実施計画書（事務事業の概要）」の成果として作成している「主要な施策の成果」に掲載している事務事業を点検・評価の対象としました。

参考：令和 5 年 2 月 1 日付け文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課の事務連絡

点検・評価の項目や報告書の書式、議会への報告方法等の点検・評価の具体的な方法については、各教育委員会が実情を踏まえて判断すべきものであること。そのため、各教育委員会においては、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、例えば、部局横断的な行政評価のなかで行うことや、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 233 条第 5 項に規定する主要な施策の成果を説明する書類の作成、議会への提出及び公表を行うことをもって、教育行政の推進に資する点検及び評価を行うことができる場合には、法第 26 条第 1 項の義務を充足したとしても差し支えないこと。

(2) 点検・評価の方法

教育委員会の事務局において、各事務事業の実施状況を確認し、「主要な施策の成果」の事務事業調書を作成しました。さらに満足度を指標としている事務事業については、満足度調査の結果について要因分析を行い、課題を抽出し、点検・評価を行いました。

これらについて、教育委員会で点検・評価を行い、報告書の案にまとめ、教育委員会評価委員会に意見を求めました。

教育委員会評価委員会の意見を報告書に追加し、最終的な協議を教育委員会の会議で行い、報告書を作成しました。

(3) 学識経験を有する者の知見の活用

地教行法第 26 条第 2 項の規定により、点検・評価を行うに当たっては、教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされているため、美里町教育委員会評価委員会条例第 2 条の規定に基づき、教育委員会評

価委員会委員に意見をいただきました。

美里町教育委員会評価委員会委員名簿

No	氏 名	経歴等
1	小野 ゆかり	元南郷中学校校長
2	葛西 美智子	塾講師
3	白旗 隼	地域おこし協力隊

(任期：令和7年8月1日から令和9年7月31日まで)

3 点検・評価

(1) 総合計画及び基本計画に掲げる政策、施策、事務事業について

教育委員会では、基本計画と計画内容が整合していると総合計画に掲げる2つの政策と5つの施策に基づき、69の事務事業を実施しています。

政策・施策		重点	施策の指標
	政策1 教育の振興		
	施策1 学校教育の充実	●	・満足度
	施策2 多様な人材の育成		・満足度
	施策3 生涯学習の充実		・満足度
	政策2 教育環境の整備		
	施策4 学びのセーフティネットの構築		・満足度
	施策5 教育を振興するための基盤整備	●	・満足度

進行管理は、施策ごとに指標を設定し、計画期間の各年度において、その達成状況を測ることにより、総合計画の達成状況の評価及び検証を行い、課題を把握し、改善に努めることとしています。

教育委員会が行う点検・評価については、その対象を「主要な施策の成果」に掲載している事務事業としたことから、上記の進行管理と同様の考え方で実施することとします。

(2) 事務事業に係る主要な施策の成果の作成、点検・評価について

「主要な施策の成果」は、地方自治法第233条第5項の規定により決算を議会の認定に付するに当たって「主要な施策の成果を説明する書類」として作成するものです。また、主要な施策の成果は、マネジメントサイクル、いわゆるPDCAの「Check」の機能を持ち合わせており、次年度以降の「実施計画書」に反映させることも目的の一つとなります。

教育委員会では、所管する69の事務事業について主要な施策の成果を作成することにより、事務事業ごとの主な活動指標の実績値を確認し、計画値に対する達成度、事業内容の妥当性、有効性等を点検・評価しました。

【実施状況】

「主要な施策の成果一覧表」及び「令和6年度一般会計・特別会計主要な施策の成果」参照

(3) 満足度調査の要因分析、点検・評価について

教育委員会では、政策、施策の進行管理を行うに当たり、主な事業の達成

度をそれぞれの事業に対する対象者の満足度を測ることによって、対象者の事業に対する評価がどうであるのかを把握し、また、どうしてそのような評価になるのかを考察するため、満足度調査の点検・評価をすることが必要であると考えました。

その内容は、主な事務事業のうち満足度を測定することが妥当であると考えられる事業について、毎年度、満足度調査を実施し、結果の要因分析、点検・評価を行うことにより、評価が低かった設問等から課題を捉え、改善に努めていくというものです。また、総合計画では、進行管理を行うに当たり、施策ごとに指標を設定することとしているため、施策ごとにそれに連なる事業の満足度の平均値を算出し、前年度の平均値より向上させることとしています。

満足度調査は、対象者や設問の内容により、結果が大きく変化するものであり、設定内容が重要です。満足度調査の内容が、それぞれの事業の課題を見出し、解決できるような内容になっているかが求められます。

これらを踏まえ、総合計画及び基本計画の教育に関する5つの施策に基づく33の事務事業について満足度調査を行い、施策ごとに平均値を算出し、結果の要因分析、点検・評価を行いました。

【実施状況】

「満足度調査点検評価一覧表」参照

主要な施策の成果一覧表

No.	事務事業名称	令和6年度 決算額（円）	主な活動指標	満足度 （％）	施策の成果 ページ
1	教育委員会評価委員会運営	18,300	会議開催1回、答申・意見書1件	－	274
2	教育委員会運営	2,130,800	会議開催15回	－	275
3	就学時健康診断事業	494,484	就学予定者149人、受診率100％	－	276
4	いじめ防止対策委員会運営	0	会議開催なし	－	277
5	外国語コミュニケーション能力 向上事業	18,625,850	ALT配置3人	88.9	278
6	小中学校情操教育推進事業	899,080	芸術鑑賞教室実施7校	93.6	279
7	奨学事業	7,680,111	奨学金貸付者数10人、新規3人	83.0	280
8	特別支援教育推進事業	99,700	巡回指導33回	91.0	281
9	いじめ防止、不登校対策等事業	5,863,555	SSW配置3人	82.4	282
10	就学支援委員会運営	34,755	会議開催1回、答申・意見書1件	－	283
11	スクールバス事業	40,294,880	利用対象者1,846人、運行台数8台	76.9	284
12	教科書採択事業	68,200	教科書展示会開催22日間	－	285
13	就学管理事業	1,019,354	指定校変更9件、区域外就学28件	－	286
14	子どもの安全・安心確保事業	853,555	緊急連絡システム12校、引渡訓練12回	73.9	287
15	小学校健康管理事業	8,540,112	児童健診受診1,068人、教職員健診受診77人	－	288
16	小牛田小学校施設管理	14,730,600	児童数156人	－	289
17	不動堂小学校施設管理	22,383,919	児童数480人	－	290
18	北浦小学校施設管理	15,367,702	児童数109人	－	291
19	中埴小学校施設管理	14,212,554	児童数74人	－	292
20	青生小学校施設管理	17,757,163	児童数68人	－	293
21	南郷小学校施設管理	10,339,926	児童数183人	－	294
22	小学校学力向上事業	15,117,917	学力向上支援員6人、総合学力調査6校	73.3	295
23	小学校ESD（環境教育）推進事業	2,587,200	環境教育出前授業6校、照明LED化3校	92.7	296
24	小学校就学援助及び特別支援教育 就学奨励事業	8,864,536	就学援助63世帯、特支奨励費15世帯	－	297
25	小学校学校生活支援事業	36,343,760	教員補助員22人	83.3	298
26	小学校教育振興事業	28,771,420	学校図書補助員6人	79.6	299
27	中学校健康管理事業	5,256,716	生徒健診受診551人、教職員健診受診53人	－	300
28	小牛田中学校施設管理	15,839,611	生徒数194人	－	301
29	不動堂中学校施設管理	21,226,557	生徒数255人	－	302
30	南郷中学校施設管理	13,499,267	生徒数102人	－	303
31	中学校学力向上事業	7,821,686	学力向上支援員3人、総合学力調査3校	82.2	304
32	中学校就学援助及び特別支援教育 就学奨励事業	9,965,487	就学援助62世帯、特支奨励費11世帯	－	305
33	中学校学校生活支援事業	5,170,095	教員補助員2人、特支支援員1人	80.6	306
34	中学校教育振興事業	26,878,943	学校図書補助員3人	81.5	307
35	中学校部活動支援事業	4,229,652	部活動指導員1人	92.6	308
36	新中学校整備推進事業	4,274,980,361	工事完了	－	309
37	幼稚園事業	87,176,694	補助教諭6人、特支支援員17人	87.3	310
38	幼稚園健康管理事業	1,265,519	幼児健診受診219人	－	311
39	私立幼稚園等通園支援給付事業	31,121,966	施設型給付費5件、施設等給付費13人	－	312
40	預かり保育事業	29,391,053	預かり保育受入160人	87.6	313
41	こごた幼稚園施設管理	5,840,213	幼児数77人	－	314
42	ふどうどう幼稚園施設管理	9,308,356	幼児数104人	－	315

主要な施策の成果一覧表

No.	事務事業名称	令和6年度 決算額（円）	主な活動指標	満足度 （％）	施策の成果 ページ
43	なんごう幼稚園施設管理	5,677,439	幼児数44人	－	316
44	家庭教育支援事業	7,942	講座開催数1回、講座参加者数28人	95.0	317
45	社会教育委員設置事業	115,100	社会教育委員数5人	66.0	318
46	青少年育成事業	268,537	ジュニアリーダー登録人数20人	100.0	319
47	青少年問題協議会運営	60,300	会議開催1回	－	320
48	文化財保存事業	151,170	指定文化財数5件	－	323
49	伝統芸能等保存継承推進事業	32,800	北浦小神楽教室実施回数20回	85.3	324
50	文化財活用事業	132,523	文化財学習講座実施2回、参加者40人	91.5	325
51	遺跡等維持管理事業	1,665,449	除草等業務実施8回	85.0	326
52	文化財保護委員会運営	0	会議開催なし	－	327
53	不動堂記念館施設管理	367,098	施設利用日数38日	－	328
54	郷土資料館運営事業	3,017,299	企画展実施回数3回	94.8	329
55	郷土資料館施設管理	1,758,527	延べ利用者数1,030人	－	330
56	図書館サービス事業	4,475,459	延べ利用者数28,400人	94.1	331
57	資料収集・保存整備事業	6,032,574	図書資料収集2,788点	87.7	332
58	近代文学館施設管理	10,427,946	開館日数264日	－	333
59	南郷図書館施設管理	213,840	開館日数267日、延べ利用者数7,353人	－	334
60	子ども読書推進事業	33,000	学校と連携した活動回数26回	94.8	335
61	近代文学館運営審議会運営	85,600	会議開催2回	－	336
62	町民ギャラリー事業	15,444	企画展9回	85.7	337
63	学校体育施設開放事業	487,589	延べ利用者数29,970人	92.0	343
64	南郷学校給食センター事業	44,987,811	給食提供人数384人	92.5	354
65	小学校給食事業	107,433,145	給食提供人数1,017人	93.5	355
66	中学校給食事業	67,155,947	給食提供人数501人	91.6	356
67	幼稚園給食事業	14,524,242	給食提供人数220人	85.9	357
68	学校給食運営審議会運営	14,000	会議開催1回、答申・意見書1件	－	358
69	南郷学校給食センター施設管理	8,376,140	施設利用日数215日、調理日数192日	－	359

満足度調査点検・評価一覧表

施策 1 学校教育の充実			R6満足度%	R5満足度%	前年度比
			86.1	80.7	5.4
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
1	小学校学力向上事業	小学校	73.3	76.7	▲ 3.4
【要因分析、点検評価】 学力向上支援員を配置した成果、委託して実施する総合学力調査の効果等について小学校を対象に満足度調査を実施した。前年度と比べ、学力向上支援員の配置による教員の多忙化解消で低い結果となった。増員や勤務時間の拡大を要望する学校が見受けられる一方で、財源及び人材の確保に課題がある。また、学校間でも満足度に差が見られることから、効果的な取組について情報共有を図っていく必要がある。					
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
2	中学校学力向上事業	中学校	82.2	57.8	24.4
【要因分析、点検評価】 小学校と同様の設問で中学校を対象に調査を実施した。前年度と比べ、学力向上支援員の配置効果、総合学力調査の効果ともに評価が大きく上昇した。総合学力調査については、採用して3年目であり、各校で効果的な活用方法が確立されたことが高い評価につながったと考えられる。令和7年度からは学力向上推進委員会の選定によりAIドリル、学力調査の業者を変更したことから、さらなる有効活用を図りたい。					
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
3	小学校ESD（環境教育）推進事業	行事参加者	92.7	85.9	6.8
【要因分析、点検評価】 小学校で民間事業者による環境教育出前授業を実施し、受講した児童を対象に満足度調査を実施した。令和5年度の実施内容は小学生向けとしては若干高度な内容であったが、令和6年度は小学校高学年向けに作成されたプログラム、実験器具を用いることで理解度が高まったものと考えられる。令和7年度以降も同様の内容で実施することとなるが、児童や教員の感想を踏まえてさらに改善を図りたい。					
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
4	幼稚園事業	園児、保護者	87.3	84.5	2.8
【要因分析、点検評価】 幼稚園を利用している保護者を対象に、職員対応、保育環境、情報提供について調査を実施した。前年度に引き続き高い満足度だった。全体的に高い評価ではあるが、職員の対応や園児の普段の様子が分からないことに不満を抱く保護者の意見があった。職員の対応については園長所長会等で改善を働きかける必要がある。また、保護者との日々のコミュニケーションやおたより等で普段の様子を共有していく必要がある。					
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
5	家庭教育支援事業	行事参加者	95.0	100.0	▲ 5.0
【要因分析、点検評価】 家庭教育支援講座を開催し、受講者を対象に満足度調査を実施した。講座の内容についての満足度は高く、受講者からはもっと多くの人に聞いてほしいという意見が複数あった。また、回数を増やしてほしいという意見もあった。講座の実施回数や家庭教育支援ボランティアの登録人数が計画値に達しなかったこともあり、取組が十分とは言えない状況である。今後は、ボランティアの確保に向けて働きかけを行うとともに、関係機関と連携し、家庭教育支援を充実させていくこととしたい。					

満足度調査点検・評価一覧表

施策 2 多様な人材の育成			R6満足度%	R5満足度%	前年度比
			91.3	91.8	▲ 0.5
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
6	外国語コミュニケーション能力向上事業	小、中学校	88.9	91.7	▲ 2.8
【要因分析、点検評価】 ALT、ALTコーディネーターの配置の効果について学校を対象に満足度調査を実施した。前年度よりも若干下がってはいるが、引き続き高い評価を得ている。全体的に高い評価であるが、小学校を中心にALTの配置日数を増やすことを望む声が多く、引き続き限られた人員の中でバランスを見て調整を行っていく必要がある。ALTコーディネーターに係る評価も高く、学校と適切な調整ができていたものと評価できる。					
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
7	小中学校情操教育推進事業	行事参加者	93.6	91.8	1.8
【要因分析、点検評価】 芸術鑑賞教室に参加した児童生徒及び教員を対象に満足度調査を実施した。前年度までは鑑賞型の演目だったが、令和6年度は児童が実際に太鼓を叩いて演奏するワークショップを実施した。参加した児童の評価は非常に高く、実際に演奏を体験することが効果的であったと考えられる。一方で、体験型の演目は対象人数が限られることから、学校からは全校児童対象を希望する意見もあった。今後のあり方については検討していく必要がある。					
施策 3 生涯学習の充実			R6満足度%	R5満足度%	前年度比
			90.4	89.6	0.8
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
8	社会教育委員設置事業	社会教育委員	66.0	75.0	▲ 9.0
【要因分析、点検評価】 社会教育委員を対象に各種事業の効果等について満足度調査を実施した。委員からは、社会教育の現場の視察や協議の機会を望む意見があり、全般的に取組が十分とは言えない状況である。令和7年度からは美里中学校内に設置された地域学校連携室が中心となり、地域と学校をつないで社会教育を推進することとしている。社会教育委員の意見を聞きつつ取組を充実させていく必要がある。					
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
9	青少年育成事業	行事参加者	100.00	100.0	0.0
【要因分析、点検評価】 小学生低中学年向けの美里っ子体験塾参加者を対象に満足度調査を実施した。体験活動をより充実させるため、ジュニアリーダーが隙間時間を活用したレクリエーションを行ったことや参加者の活動をサポートしたことが高い評価につながったものと考えられる。今後も高い満足度を維持できるよう、改善に取り組んでいく。参加者の評価が高かった一方で、申込開始当日に定員に達し、すべての参加希望者が参加できなかった。定員や申込開始時間等については見直しを行っていく必要がある。					

満足度調査点検・評価一覧表

No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
10	文化財保存事業	文化財保護委員	—	50.0	—
	【要因分析、点検評価】 令和6年度は、文化財保護委員の委嘱をしなかったため、事業の評価を実施することができなかった。満足度評価をしていないため、施策全体の満足度の計算からは除外している。				
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
11	伝統芸能等保存継承推進事業	行事参加者	85.3	88.6	▲ 3.3
	【要因分析、点検評価】 総合学習で神楽に取り組む北浦小学校3年生と北浦小学校神楽クラブ員に満足度調査を実施した。満足度は前年度を下回ったものの、「神楽教室等に参加してとても良かった」が全体のおおよそ6割と高い状況である。地域のお祭りも再開され、地域住民の方々に披露することができている。今後、後継者の育成、神楽保存会会員の確保が必要である。				
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
12	文化財活用事業	行事参加者	91.5	93.8	▲ 2.3
	【要因分析、点検評価】 文化財講座と出前講座の参加者を対象に満足度調査を実施した。文化財講座は、歴史等に興味がある方々の参加だったこともあり、参加者の交流にもなり、高評価だった半面、専門的な学習を求める声も寄せられた。出前講座は、自治会等の団体からの依頼に基づき、企画段階から依頼者と協力し、ニーズに合わせた講座内容を提供していることから、高く評価されている。				
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
13	遺跡等維持管理事業	行政区長、管理団体等	85.0	85.0	0.0
	【要因分析、点検評価】 行政区長や管理団体などの地域住民と文化財講座の参加者を対象に満足度調査を実施した。遺跡等の維持管理を定期的実施したことで、概ね満足いただいたものと評価できる。大雨や強風など自然災害が懸念される際には、見回りや声がけなどを積極的に行っており、地域住民との信頼関係を構築できたことが満足度の維持に繋がったと考えられる。				
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
14	郷土資料館運営事業	行事参加者	94.8	95.5	▲ 0.7
	【要因分析、点検評価】 郷土資料館で実施する体験講座の参加者を対象に満足度調査を実施した。前年度と比較し、若干下がったものの、引き続き高い評価を得た。また、複数回の講座を実施して欲しい等の意見が聞かれたことからニーズはあるものと考えられる。今後も継続して講座等を実施することで文化財の重要性の理解を促進していきたい。				

満足度調査点検・評価一覧表

No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
15	図書館サービス事業	来館者	94.1	91.3	2.8
【要因分析、点検評価】 「満足」や「ある程度満足」がほとんどであり、前年度より満足度は上昇した。図書館全体の印象は良く職員の対応も良いと評価されている。図書館まつりなど参加型イベントの参加者も増加している。例年実施しているイベントのほか、新たに楽器演奏を取り入れた朗読会を開催し好評を得ており、満足度の上昇につながったと考えられる。好意的な意見の中でも、イベントの実施時間が短い、情報提供不足などの意見があったため、好評のイベントについては複数回実施できるような体制の構築と情報提供の見直しが必要である。					
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
16	資料収集・保存事業	来館者	87.7	86.2	1.5
【要因分析、点検評価】 「満足」や「ある程度満足」がほとんどであり、前年度より満足度は上昇した。一方で、新刊購入及び視聴覚資料（CD・DVD）の充実を希望する意見がある。物価高騰の影響で本の価格が上昇しており購入冊数に影響を与えている。以前は予約が多い本を複本として購入し迅速に対応できていたが、予算的に厳しい状況であり、町外の図書館から借用する相互貸借で対応している。その結果、利用者への貸出まで時間を要するなど影響が出ている。					
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
17	子ども読書推進事業	行事参加者	94.8	99.0	▲ 4.2
【要因分析、点検評価】 「満足」や「ある程度満足」がほとんどであるが、前年度から満足度は下降した。子ども読書週間イベントやおはなし会を開催し、子どもが本に触れる機会となっている。子ども読書週間イベントについては資料展示の工夫や、工作・ゲーム企画が好評である。子どもに対して本の紹介や案内をしてほしいという意見もあった。					
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
18	町民ギャラリー事業	来館者	85.7	87.0	▲ 1.3
【要因分析、点検評価】 「満足」や「ある程度満足」がほとんどであるが、前年度から満足度は下降した。企画展実施の減少が一要因と考えられる。町内及び大崎エリアの作家による展示は、広域からの観覧者もあり好評であった。また、図書館に本を借りて来館し展示会の開催を知り観覧していくという相乗効果も図られた。今後、利用の増加を図るために、企画展を継続的に開催し、貸館や共催企画展につながるよう情報発信と周知について見直しが必要である。					
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
19	学校体育施設開放事業	利用団体	92.0	100.0	▲ 8.0
【要因分析、点検評価】 学校体育施設開放事業を利用する登録団体を対象に満足度調査を実施した。前年度よりも下がったものの、高い評価を得ており、学校体育施設の開放についてのニーズは高い。一方で前年度同様、設備の修繕等を求める意見もあり、使用環境の改善については課題がある。また、中学校の統合により使用できる施設が減ったことから、利用団体間での調整については状況を注視していく必要がある。					

満足度調査点検・評価一覧表

施策4 学びのセーフティネットの構築			R6満足度%	R5満足度%	前年度比
			88.6	85.5	3.1
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
20	奨学事業	利用者	83.0	83.0	0.0
【要因分析、点検評価】 奨学資金の内容について、奨学資金借受者を対象に満足度調査を実施した。概ね高い評価を得ており、全体の満足度も前年度と同等の結果となった。奨学金募集時期を12月から実施して欲しいという意見が多くあげられたことから、今後は募集始期を早められるよう検討していく。また、多くの町民に対し奨学資金募集の情報を周知していく必要があるため、今後も取組を継続していく。					
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
21	特別支援教育推進事業	小・中学校	91.0	83.6	7.4
【要因分析、点検評価】 特別支援教育に係る学校教育支援専門員の指導、助言、研修会の効果等について各学校を対象に満足度調査を実施した。研修事業については、概ね高い評価を得ている。教員や教員補助員、特別支援教育支援員の研鑽を積むためにも、今後も継続して事業を実施していく必要がある。また、各種会議における情報交換の場の設定について意見が挙げられている。会議後すぐに解散するのではなく、会議の時間の中で情報交換の時間を設定できるよう調整する必要がある。					
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
22	いじめ防止、不登校対策等事業	小・中学校	82.4	70.0	12.4
【要因分析、点検評価】 スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置の効果、はなみずき教室の支援内容等について各学校を対象に満足度調査を実施した。小学校における満足度が低い傾向にあり、特にSSWの利用については連携が十分とは言えない状況である。今後、小学校とSSWが積極的に連絡を取れるよう、周知に努める必要がある。はなみずき教室の通所支援及び別室登校支援は、利用児童生徒が在籍する学校の評価は高い一方で利用者がいない学校も多く、さらなる周知が必要である。令和7年度から美里中学校で開始する学び支援教室の取組と連携し、効果的に運用していく必要がある。					
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
23	南郷学校給食センター事業	園児、児童生徒、職員	92.5	93.1	▲ 0.6
【要因分析、点検評価】 前年度と同様に9割以上の児童生徒が「おいしい」又は「どちらかといえばおいしい」と評価した。満足度は前年度よりも若干下がってはいるものの、「味付けが良い」という意見が大多数を占めており、引き続き高い評価を得ている。また、「量が多い」という意見が多く見受けられたことから、栄養価を考慮しつつ栄養士会等で検討していく。今後も児童生徒に好まれる給食を作り、高い満足度を維持できるよう取り組んでいくこととしたい。					
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
24	小学校給食事業	児童	93.8	92.8	1.0
【要因分析、点検評価】 9割以上の児童から「満足」又は「どちらかといえば満足」の回答があり、前年度よりも「満足」と回答した児童の比率が高かったため満足度が上昇した。「味付けが良い」、「量がちょうど良い」との評価が多く、日頃から児童に寄り添った献立を作成しているものと評価できる。一方で、嫌いなものがあるから「ときどき残す」と回答している児童が比較的多く、アンケート結果を栄養教諭、栄養士と共有し、残さず食べられるように工夫して献立を作成していく必要がある。					

満足度調査点検・評価一覧表

No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
25	中学校給食事業	生徒	91.3	89.8	1.5
【要因分析、点検評価】 9割以上の生徒から「おいしい」「どちらかといえばおいしい」の回答があり、高い満足度となった。給食の量については女子生徒を中心に「多い」と回答した生徒がいるため、正しい食育と健康について給食を通じて学びにつなげられるよう取り組んでいく。令和7年度からは美里中学校の新しい給食施設での調理となり、食数も大幅に増えることとなるが、引き続き生徒に喜んでもらえる給食を提供できるよう努めていく。					
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
26	幼稚園給食事業	園児、職員	85	86.5	▲ 1.5
【要因分析、点検評価】 前年と比較して、給食の量について「多い」又は「少ない」という回答が多かったため、満足度を下げる要因となった。味付けについては「おいしい」「どちらかといえばおいしい」の回答が約87.0%であり、小中学校と比較するとやや低い傾向がみられることから、今後もアンケート等を通じて幼稚園児が好む味付けや食材等について検討していく。健やかな成長を期するためには成長期における十分な栄養素を含む給食の提供が不可欠であり、園児が苦手とする野菜、魚等をどのように提供するかについて特に重点的に検討する必要がある。					
施策5 教育を振興するための基盤整備			R6満足度%	R5満足度%	前年度比
			82	76.8	5.2
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
27	スクールバス事業	学校、保護者	76.9	80.9	▲ 4.0
【要因分析、点検評価】 バス担当教員及びバス利用者の保護者を対象に満足度調査を実施した。満足と回答した方の意見としては「運転手が子どもたちのことをよく覚えている」、「友達と一緒に通学できる」等の意見が多かった。一方で不満と回答した方の意見として「運転手の態度が悪い」、「雨の日や雪の日などに定刻通りに来ない」、「朝の運行時間が早すぎる」といった意見があった。運転手の態度については今後も研修会等を通じて接遇について改善を行うこととしたい。また、運行時間については適宜調整を行っており、改善に努めたい。					
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
28	子どもの安全安心確保事業	学校、保護者	73.9	69.7	4.2
【要因分析、点検評価】 通学路等の危険箇所対策及びヘルメット購入補助について、学校安全担当教員及び保護者を対象に満足度調査を実施した。令和7年度から美里中学校が開校することに伴い、令和7年度に中学生になる子供を持つ保護者から「通学が自転車ではなくスクールバスになるので安心できる」といった意見が多く、満足度の向上につながったものと考えられる。また、不満とする意見には「指定以外のヘルメットにも補助制度を活用させてほしい」といった意見があったことから検討していく必要がある。					

満足度調査点検・評価一覧表

No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
29	小学校学校生活支援事業	小学校	83.3	83.3	0.0
	【要因分析、点検評価】 教員補助員の配置に関する満足度調査を学校を対象に実施した。前年度に引き続き教員補助員の増員を求める意見が多く、学校での必要度は高い分野である。可能な限り配置を検討しているが、財源の確保が課題となっている。周辺の自治体の学校と比べ、手厚い配置となっている状況であり、配置のあり方について検討していく必要がある。				
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
30	小学校教育振興事業	小学校	79.6	81.9	▲ 2.3
	【要因分析、点検評価】 学校図書補助員の配置、消耗品、備品等の購入に関する満足度調査を学校を対象に実施した。備品・消耗品等の購入については、全体的には充足しているものと考えられる。学校図書補助員については教員の多忙解消について高い評価を得ており、今後も継続した取組が求められる。令和6年度、令和7年度は小学校には教員業務支援員は配置していないが、中学校での配置効果を踏まえ、今後検討していきたい。				
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
31	中学校学校生活支援事業	中学校	80.6	66.7	13.9
	【要因分析、点検評価】 教員補助員、特別支援教育支援員の配置に関する満足度調査を学校を対象に実施した。前年度同様、各校1人の配置であるが、評価は大きく上昇した。各年度の対象生徒の状況等により、評価が上下するものと考えられる。令和7年度、美里中学校では3人の配置であるが、状況を注視していく必要がある。				
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
32	中学校教育振興事業	中学校	81.5	66.7	14.8
	【要因分析、点検評価】 学校図書司書補、教員業務支援員の配置、消耗品、備品等の購入に関する満足度調査を学校を対象に実施した。前年度に比べ、備品等の不足感が解消されたことにより高い評価につながった。統合に伴い、美里中学校で必要な備品等を揃える見通しがたったことが要因と考えられる。 県の補助金を活用し、教員の多忙化解消のための教員業務支援員を配置したが、業務内容の確立には課題がある。令和7年度は美里中学校に1人配置している状況であり、効果的な活用を図りたい。				
No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
33	中学校部活動支援事業	中学校	92.6	70.5	22.1
	【要因分析、点検評価】 大会参加費の補助、部活動指導員の配置等について満足度調査を実施した。部活動指導員を南郷中学校で配置しており、高い評価を得た。大会参加費の補助についても高い評価であり、保護者負担を軽減することができた。部活動の地域展開を進めるとともに、学校部活動の支援策も引き続き実施していく必要がある。				

満足度調査点検・評価一覧表

No.	事業名	アンケート対象者	R6満足度%	R5満足度%	前年度比
34	預かり保育事業	保護者	87.5	87.1	0.4
	【要因分析、点検評価】 町内幼稚園の預かり保育を利用している保護者を対象に満足度調査を実施した。前年度同様、高い水準を維持している。課題だった情報提供の不満が改善され、高い評価につながったと考えられる。一方で、預かり保育実施日については年度末や年度初めの利用を要望する意見が多く、今後検討していく必要がある。				

4 点検・評価に対する教育委員会評価委員会からの意見

令和7年度第1回美里町教育委員会評価委員会

日時：令和7年8月8日（金）午後1時30分～午後2時45分

場所：美里町南郷庁舎201会議室

（1）点検・評価の対象と方法について

- ・前年度から引き続き、主要な施策の成果の作成及び満足度調査の要因分析を対象としたことは妥当である。
- ・満足度調査の項目や計算方法については、年々的を射た内容になってきており、改善されてきている。
- ・学校を対象に満足度調査を実施している事業については、対象者を受益者である児童生徒、保護者まで拡大した方がより実態に即した評価につながるのではないかと。

（2）委員からの個別意見

【教育目標と学力向上】

- ・教育委員会と幼稚園、学校の目指す子ども像との擦り合わせが十分でないのではないかと。子どもの主体性を重要視する教育目標を教職員が共有することが大切なのではないかと。
- ・「令和の日本型学校教育」を推進し、知識活用能力、しなやかな思考力等を含めた総合的な育成を目標化することが望ましい。
- ・読書活動や図書館の活用促進は学力向上に資すると考えられることから、児童生徒を対象とした図書館の利用促進策を検討すべきではないかと。

【教員補助員・地域支援体制】

- ・教員補助員の手厚い配置は町の強みではあるが、活用方法や役割分担にばらつきがある。教員補助員を効果的に活用するため、担任以外も含めた教職員全体での情報共有、研修が必要なのではないかと。
- ・教育委員会において学校の実態を把握することにより配置効果を検証し、配置効果を向上させるため、配置換え等による活性化等を進める必要があるのではないかと。
- ・不動堂小学校で実施している地域ボランティアの授業補助を横展開することで、教員の負担軽減や地域連携の強化を図ることができるのではないかと。一方で、学校の受入体制や役割の共有については課題があり、改善の余地があるのではないかと。

【スクールバスの活用】

- ・現在の運用は柔軟性に欠ける部分があり、町内の子ども・住民がより利用しやすくす

る工夫が望まれる。特に私立の施設等への対応やイベント活用も含め、利用ルールや申請方法の周知を検討すべきではないか。

- ・美里中学校の開校に伴い、バスを増台したことから、今後はより効果的な運用が期待される。次年度以降の点検評価で効果を注視していく必要があるのではないかな。

【教員間・校種間連携】

- ・中学校の統合に当たって開催した教科別・分掌別会議は有意義であったため、小学校間でも学年別研修会等を開催し、指導方法の統一や若手教員の支援を図ることが望ましい。
- ・幼稚園教育の在り方や授業設計の方向性が不明確との現場の声があり、行政が方針を明確化に示す必要があるのではないかな。

【はなみずき教室の運営】

- ・南郷庁舎1か所で運営しているが、地理的な条件から利用しにくい側面がある。不登校の児童生徒により多くの居場所としての選択肢を提供できるよう、別の場所での開設も検討いただきたい。

(3) 総合的な意見

- ・評価方法の改善が継続されており、効果的な点検評価ができています。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響から回復した後、スピード感を持って事務事業の改善を実施している印象がある。
- ・上記個別意見にあるような課題はあるが、それぞれの意見を前向きに捉え、事業改善に役立てていただきたい。
- ・美里町総合計画・美里町総合戦略、美里町教育振興基本計画の策定も控えており、教育委員会、学校、幼稚園が一貫した教育方針を共有し、地域資源を効果的に活用するための体制整備を進めることが重要である。
- ・美里中学校の開校を契機として、小中連携や地域連携を強化し、持続可能な教育環境の構築につなげることを期待する。

おわりに

令和6年度は、美里中学校の開校と3つの中学校の閉校に向けて、大詰め
の準備作業に当たりました。多くの方々の協力により、令和7年4月に美里中
学校は無事に開校することができました。最新の教育設備と安全・安心な環
境を備えた新しい学び舎が誕生したことは、子どもたちの学びの質を高め、
将来にわたる教育の充実を図る上で極めて意義が大きいことであると考え
ております。開校に至るまでの過程では、多くの関係者や地域住民の理解
と協力があり、その支えによって着実に準備と移行が進められたことにつ
いて、改めて感謝申し上げます。

令和6年度事業の点検・評価は、前年度に引き続き、主要な施策の成果の
作成と満足度調査の要因分析により行いました。教育委員会評価委員会
からは、事業評価の整理が年々的確になってきていること、それにより事
業改善が行われていることが評価されました。また、各学校の教育目
標の共有の状況、教員補助員の活用方法、スクールバスの運用等につい
て、意見をいただきました。

令和7年度は、美里町総合計画・美里町総合戦略及び美里町教育振興基
本計画の最終年度であり、これまでの取組を総括するとともに、課題や
改善点を整理し、次期計画へ引き継ぐ重要な節目であります。次期計
画においては、これまでの成果と課題を踏まえ、子ども一人ひとりの学
びと成長を確実に支えるため、人員体制や支援策の充実、地域の多様な
人材や資源の活用等を行い、持続可能な教育環境の構築を目指してまい
ります。

教育委員会としては、適切に点検・評価を行うことにより、町民に開
かれた教育行政を推進し、説明責任を果たしてまいります。今後も、町
全体で子どもたちの健やかな成長を支えることができるよう、一層の努
力を重ねてまいります。